

---

# 何日も食べてない

geinguns

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

何日も食べてない

### 【著者名】

NO309D

### 【作者名】

gaga-i-n-goumous

### 【あらすじ】

衰弱をした友達を助ける感動巨編

レッチリのアンダーザブリッジが流行つてた頃

若かつた。

バンドもバツキバキにやつてた。  
今の3倍ぐらい動けてた。

Y君がずっと練習に来なかつたことがある。

当時は携帯もない時代である。

彼の一人暮らしの家に電話しても留守電ばかり。  
どうかで白骨化でもしてるんじやないかと心配していた。

しばらくしてY君から電話があったと母親からいわれ  
俺はあわてて電話した。

Y君の声は明らかに衰弱していた。

わけを聞くと金がなくもう何日も飯を食べてないらしい。

いてもたつてもこられなくなつた俺は  
ちょっと待つておといつて電話を切り

自分でおひきりを2つ作りアルミホイルにのつんだ。

まつじろよ～死ぬなよ～

親はあきれ顔で俺を見ていた覚えがある。

とにかくY君の家に着いた俺は自分を作ったおにぎりを渡した。

Y君はこの味は一生忘れん!とか言いながら食べていた。

そのあとずっとこんなことを彼と話していく。

音楽の事、女の事、夢、未来、・・・・・・・、いろいろと

将来に漠然とした不安を抱えて  
悶々としていた時期だった。彼もそうだったと思う。

酒を飲んでも女の子と遊んでもそれは晴れなかつた。

まだ人生について何も分からなかつた。今もわからないが、  
、

ただ友達は大切なところの出来事で知つた気がする。

(後書き)

食べれるくらいの金は  
手元に残しておきましょう

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0309d/>

---

何日も食べてない

2010年10月22日00時21分発行